

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		葬祭費（国保会計）[国民健康保険葬祭費支給事業]										
予算科目	款	2	保険給付費	項	5	葬祭費	目	1	葬祭費	事業番号	1	
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	保険年金 課 国民健康保険給付 係					課長名	岩野 秀夫					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 5			
【施策名】 社会保障の充実								総合計画書 (ページ)	63			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	東大和市国民健康保険被保険者が死亡したときの遺族					東大和市国民健康保険被保険者数（年報年度平均人数）						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
2 指標の推移	被保険者の遺族の葬祭に係る経済的負担の一部軽減					①葬祭費支給件数/国民健康保険被保険者数 → ②葬祭費支給金額/国民健康保険被保険者数						
	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）						
	葬祭費は、国民健康保険の相対的必要給付に位置づけられ、東大和市国民健康保険条例第9条の規定により、国保被保険者が死亡したときに葬祭を行った者に5万円を支給している。					①葬祭費支給件数 ②葬祭費支給額 →						
	→											
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標		令和5年度目標			
対象指標	①の数値	人	18,818	18,472	18,133							
成果指標	②の数値	① % ② 円	①0.57②290	①0.64②319	①0.58②290							
目標	②の目標値											
目標値設定の考え方												
申請者に対し、適正に給付を実施する。「目標値」の設定については、なじまない。												
活動指標	③の数値	① 件 ② 円	①108 ②5,400,000	①118 ②5,900,000	①105 ②5,250,000							
3 経費	事業費（実績）		円	5,400,000	5,900,000	5,250,000		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,250,000円 時間単価は、 4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円	5,400,000	5,900,000	5,250,000						
		特定財源（国・都・他）	円									
		（うち受益者負担）	円									
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	80.0	80.0	80.0						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	344,000	344,000	336,000						
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	5,744,000	6,244,000	5,586,000							
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和35 年度									
	(2) 環境の変化		葬祭費は、国民健康保険の相対的必要給付に位置づけられており、東大和市国民健康保険条例第9条の規定に基づき支給している。									

事業名称	葬祭費（国保会計）〔国民健康保険葬祭費支給事業〕			
担当部署・課長名	保険年金	課	国民健康保険給付	係 課長名 岩野 秀夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	☐ 取り組んだ	取組手法：
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）	
	給付実績及び国保財政を考えると、支給額を据え置きながら事業を維持することが必要と考える。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）	
8	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）	
	給付実績及び国保財政を考えると、支給額を据え置きながら事業を維持することが必要と考える。	
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
	施策名： 社会保障の充実	
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止	
	【取組内容】	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	